

目次

令和7年度「日本いも類研究会総会」及び「いも類講演会」(いも類振興会との共催)について……………1 頁
令和8年度農林水産省予算概算要求のうちいも類関係……………1 頁
異常気象(高温)による芋類の生産・利用への影響に関する情報交換会の概況……………2 頁
令和7年度農林水産省消費者の部屋「さつまいも・じゃがいもの週」……………2頁
第3回 ジャガイモシストセンチュウ類抵抗性品種の普及に関する情報交換会の開催について……………3頁

○日本いも類研究会総会、いも類振興会共催講演会の開催

令和7年度の日本いも類研究会総会及び一般財団法人いも類振興会との共催による講演会を以下のとおり開催します。

開催日時	令和8年3月11日(水)
日本いも類研究会総会	13時～13時30分
いも類講演会	13時40分～16時 40分
場所	東京都千代田区立日比谷図書文化会館(B1F) 日比谷コンベンションホール(千代田区日比谷公園 1-4)

注:1)講演会終了後、コンベンションホールに隣接しているライブラリーダイニング日比谷で情報交換会を行います。

2)いも類講演会の講演テーマ等については JRT ニュース 1 月号で送ります。

○令和8年度農林水産省予算概算要求のうちいも類関係は以下のとおりです。

1. 畑作物生産性向上支援事業

- ① さとうきび・かんしょ産地における持続可能な生産体制を構築するため、病害虫への対応や生産性向上等の取組を支援。
- ② ばれいしょ・豆類・そば等の安定生産・供給体制を構築するため、種いも産地形成や実需と連携した産地モデル育成、新品種導入、湿害対策技術の導入、病害虫まん延防止対策、気候変動対策等の取組を支援。
- ③ 需要動向等に対応した新たな生産体系の構築、労働負担軽減のための基幹作業の外部化や省力作業機械の導入、化学農薬・肥料の投入量を低減した栽培方法の実証等の取組を支援。

2. 畑作物加工・流通対策支援事業

- ① 分みつ糖・いもでん粉工場の労働生産性向上等の取組を支援。
- ② 畑作物の持続的な生産を確保するため、インバウンド向け等市場調査、新商品の開発支援、マッチング等の取組を支援。

3. 畑作物産地生産体制確立・強化整備事業

分みつ糖工場・いもでん粉工場の省力化による労働生産性向上や、かんしょ・ばれいしょの健全な種苗等の供給体制の強化に必要な施設整備等を支援。

2. 甘味資源作物生産支援対策のうち

甘味資源作物安定生産体制確立事業 781 百万円

さとうきび増産基金により、さとうきびの台風、干ばつ、病害虫発生等の自然災害への対応及びかんしょの病害虫への対応を支援。

○かんしょ勘定

・病害虫防除対策

- | | |
|-------------|---------------|
| 主な対策当期作への対応 | ・予防薬剤の散布 |
| 次期作への対応 | ・ 苗・苗床の消毒 |
| | ・ 土壌消毒 |
| | ・ 健全な種いも・苗の導入 |
| | ・ 他作物への作付転換 |

○ 異常気象(高温)による芋類の生産・利用への影響に関する情報交換会の概況について

令和7年9月18日に標記情報交換会を日本いも類研究会及び(一財)いも類振興会の共催でオンライン開催したところ。北海道から沖縄県まで、全国からの参加者は 300 名を超えました。当日は、日本いも類研究会の小巻会長が座長となり、以下のとおりじゃがいも1課題、さつまいも1課題について講演を行い、続いて学識経験者や実需者等も加わって情報交換するとともに参加者からの質問にも回答しました。

① じゃがいも

「高温干ばつ年のかん水が加工用馬鈴薯に及ぼす影響」

カルビーポテト(株)馬鈴薯研究所 品種開発課

渋川 洋氏

② さつまいも

「夏の高温が茨城県におけるかんしょ高品質生産に及ぼす影響」

茨城県農業総合センター 農業研究所 作物研究室

前田 哲氏

なお、渋川氏の講演内容については「いも類振興情報令和8年1月号」に掲載予定です。

本年も夏季の高温は著しく、真夏日は過去最高の日数が全国各地で記録されています。

今後も引き続き異常気象に関する情報交換会の開催を検討してまいります。

○令和7年度農林水産省消費者の部屋

農林水産省の消費者の部屋「さつまいも・じゃがいもの週～おいもの魅力～」を本年も地域作物課の主催、一般財団法人いも類振興会の協力により、以下のとおり開催します。

日程 10月20日(月)～10月24日(金)

場所 農林水産省消費者の部屋(北別館1階の入り口から自由に入場できます。)

展示品(青果)

さつまいも	ベニアズマ、パープルスイートロード、ほしあかね、あかねみのり、あまはづき
	ゆきこまち、ひめあずま、こなみらい、はなあかね、みちしずく、みやあかり、
	べにひなた、ふくむらさき、コガネタイガン、ハロウィンスイート、しろほろり
	きみまるこ、シルクスweet、栗かぐや、安生芋
じゃがいも	キタアカリ、とうや、さやか、ピルカ、はるか、しんせい、シャイニールビー
	ノーブルシャドー、きたすずか、ゆめいころ、さらゆき、ハロームーン、
	ながさき黄金、アイマサリ、ほろしり、ときすばる

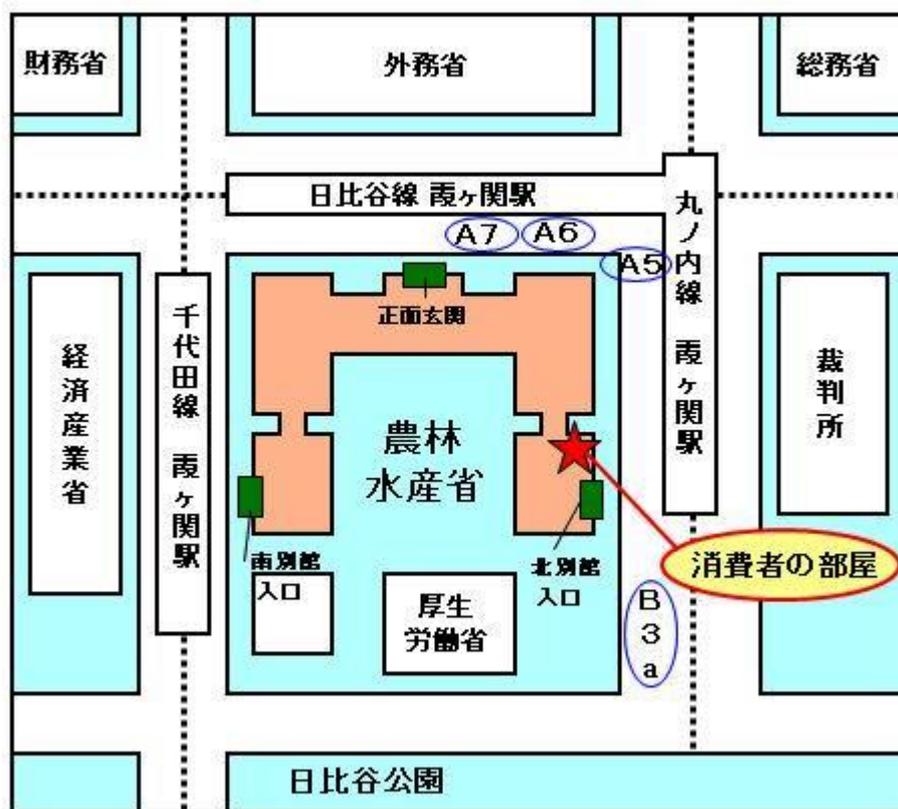
展示品(加工品)

ポテトチップス、干しいも、けんぴ、焼酎、色素、サラダ製品

さつまいも販売(次の5品種を販売します。)

安納芋、ゆきこまち、べにひなた、ハロウインスイート、きみまるこ

交通のご案内 東京メトロ霞ヶ関駅下車。A5、B3a 出口すぐ。



○ 第3回 ジャガイモシストセンチュウ類抵抗性品種の普及に関する情報交換会の開催について

令和7年 10月

1. 趣旨

国産ばれいしょの生産拡大のためには、ジャガイモシストセンチュウ類(PCN)の被害拡大の防止が喫緊の課題となっていることから、令和4年度～6年度に令和3年度補正予算「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」の一環として実施されたプロジェクト研究「ばれいしょの輸出を促進するジャガイモシストセンチュウ類低減・管理技術の開発」により得られた防除技術及び抵抗性品種の育成に係る研究成果について説明するとともに、抵抗性品種の普及や利用拡大に向けた情報交換を行います。

2. 主催

農林水産省、日本いも類研究会、一般財団法人いも類振興会

3. 参集範囲

地方自治体、生産者・生産者団体、実需者、日本いも類研究会の会員等。日本いも類研究会のHP (<https://jrt.gr.jp/>) 等でも周知し、原則として自由参加とします。

4. 開催時期等

【日 時】 令和7年11月6日(木) 13時30分～15時30分

【場 所】 Zoom ウェビナーによるオンラインセミナー形式

【定 員】 500名(先着順)を予定

【参加方法】参加費は無料。所定のフォームにより事前に参加を申し込んでいただき、前日までに事務局からメールでリンクを案内します。

5 当日の進行

【座長】日本いも類研究会会長(元福島県農業総合センター所長)

小巻 克己 氏

(1) 基調講演

① 戦略的スマ農プロ「PCN 対策コンソーシアム」の研究概要について

北海道農業研究センター寒地畑作研究領域 領域長補佐・畑作物育種グループ長 片山 健二 氏

② PCN 抵抗性品種の開発・普及状況について

北海道農業研究センター 寒地畑作研究領域 畑作物育種グループ 研究員

赤井浩太郎 氏

③ ジャガイモシストセンチュウ類防除技術について

北海道農業研究センター 研究推進部 技術適用研究チーム 上級研究員

伊藤 賢治 氏

(2) 情報交換

ジャガイモシストセンチュウ防除についての現状と今後の動向、抵抗性品種の普及及び利用拡大について情報交換を行う。

※当日の概況については、日本いも類研究会のHPに掲載するとともに、個別の質問等については事務局で後日、回答します。